

日時：令和6年3月14日(金)10時～

場所：文京シビック・センターB1階学習室

● アンケートの結果について

【事務局からの説明】(資料4) 結果概要の説明

○小学校のアンケート結果

・問4「入部を希望する部活」についての質問

- 男子、運動部の上位は、バスケットボール、野球、サッカーと続く。
- 現状の部活動の開設状況は、野球部が6校、サッカー部が2校。
- 文化部でも上位にあるパソコン部は2校、科学部は4校にしか開設していない。
- 女子も上位に位置しているダンス部は2校、料理・クッキング部は1校しかない。
- 小学生の入部希望に対して、既存で部活動は少ない現状があると言える。

○中学校のアンケート結果

・問5「部活動に所属する目的」についての質問

- 男女ともに「友達と楽しく活動するため、体力・技術を向上させるため」が高い傾向になっている。
- 結果を強く求めるという傾向が強いと一概に言えないと考える。

・問8「休日の部活動が地域連携・地域移行となり、参加するとしたらどのような活動を行いたいか」についての質問

- 男女とも約半数が「部活動の延長として活動したい」となっている。
- 「平日とは異なる内容で活動したい」は2割強となっている。

・問9「休日の部活動が地域連携・地域移行となり、参加するとしたらどのような指導者がよいか」についての質問

- 40%弱が「平日に所属している部活動の顧問の教員」と回答し、残りは「平日とは違う指導者」と回答している。
- 必ずしも、学校の教員が指導者であることを望んでいるというわけではないという傾向が見える。

・問11「部活動以外の活動を選んだ理由」についての質問

- 「無回答」が7～8割という結果なため、「学校外の活動を選択する生徒が少ない」ことが想定される。

○小・中学校で共通する傾向が見られた質問について

- 小学校問6、中学校問7「休日の部活動が、地域連携・地域移行となった場合、参加したいか」という質問について。40%弱が「家の近くなら参加したい」「学校または学校近く」と回答している。
- 一方で、35%～40%くらいの児童・生徒は「学校の部活動でないなら参加したくない」「そもそも休日の活動はしたくない」と回答している。
- 残りが「自分の求める条件に合うところがあれば参加したい」との回答である。

□ 地域連携・地域移行となったときの活動場所について、参考としていく必要がある項目と考える。

問4 「お子様が部活動に所属している（所属する）目的をどう考えているか」についての質問

□ 「友達と楽しく活動するため」「チームワーク等を味わいたいため」が上位を占めており、「大会・コンクール等でよい成績を収めるため」は、児童・生徒の回答に比べると低い傾向が見られる。

問5 「指導を受けることで期待すること」についての質問

□ 「充実感を味わえる」「体力・技術が向上できる」「専門的な指導が受けられる」が上位を占めている。

□ 児童・生徒は「技術」の方に重きがあり、保護者の方は「充実感」の方に価値を置いている傾向が見られる。

問6 「休日の部活動が、地域連携・地域移行となった場合、お子様を参加させたいか」という質問

□ 児童・生徒の回答に比べると、否定的な回答（活動させたくない、参加させたくない）は少ない結果となった。

□ 5割強が「家の近く」「学校又は学校の近く」での活動なら参加させたいと回答している。

問8 「休日の部活動が、地域連携・地域移行となった場合の指導者」に関する質問

□ 圧倒的に「専門的な技能や知識・資格を持った指導者」の回答が多い結果となった。

□ 「平日に所属している部活動の顧問の教員」という回答が児童・生徒の回答に比べると低い結果となっている。

□ 学校の教員でなくてもよいと考える保護者は多いことがわかる。

問9 「地域連携・地域移行において、解決すべき最も大きな課題は何か」についての質問

□ 回答は、圧倒的に「人材（指導者・活動を運営する人など）の確保」が多い結果となった。

□ 教員に限らず、指導にあたる人材の確保への関心が高い傾向がある。

□ この部分についてはよく検討し、説明をしていく必要がある。

【主な意見等】

- ・小学校の回答率が低いのではないかと。一方、保護者の回答率は高い。
- ・国立、私立中学校への進学率が約50%だということから考えると、小学校の回答率は妥当なのではないか。
- ・クロス集計はしたのか？－現段階ではしていない。
- ・今後クロス集計する必要がある。
- ・中学校は学校選択制をとっていることから、アンケート結果をもとに人気のある部活動を新設する動きも出てくのでは。
- ・教員の部活動指導へのモチベーションは下がりつつあるように感じる。やりたい教員はやれて、やりたくないと考えている教員はやらないで済む環境が整うとよい。
- ・国では、次期学習指導要領の検討に入っている。学習指導要領に「部活動」が入る、入らないではなく、「適切に入れる」という声があがっている。
- ・部活動については、「どうしたらいいの？」と思っている教員が多くなってきていると感じる。
- ・部活動指導をしたいから教員になりたいと思っている教員はいるのか？－年代によって違う。
- ・保護者アンケートでは、休日の指導者は、平日の指導者でなくてもよいと回答している数が多い。平日と休日の指導を切り離すのは難しいのでは？－平日に指導している教員も休日に指導で

きるようにする仕組みが必要。

- ・「平日と休日を分ける」ことが前回の検討会議より明確になった。
- ・休日にプロスポーツ家を指導者として確保するのは難しい。
- ・休日の部活動の受け皿を設けることについて、アカデミー推進課やスポーツ振興課で検討することはできるのか？－区内にはバドミントンの企業があるが、責任をどこまで負えるかが問題であるといわれている。やり方次第では、バスケットボールやダンスではやりようがある。
- ・「地域資源」として、アカデミー推進課やスポーツ振興課から「〇〇のような受け皿がある」といったように提案していただけるとよい。
- ・「近所だからやる」という意識は生徒にある。休日に少し遠いところで〇〇部を設けても、そこに通って来るかは疑問である。その観点でいうと、地域移行は難しい。
- ・同じ種目でも（例えば野球）、離れたところまで移動してでもやりたいことをやりたいと考える生徒もいれば、そうでない生徒もいる。地域性があるのかもしれない。
- ・部活動の顧問とクラブチームのコーチの仲が悪くなって、子どもが困ってしまいますケースもあった。

● 部活動アプリケーションのモデル実施について

【事務局からの説明】（資料5）BUKATSU MANAGERの説明

- ・令和6年度、トライアルとしてモデル導入を行う。
- ・外部人材の方も使用することを想定しているため、個人情報の保護等が課題になる。

【主な意見等】

- ・現在、保護者への連絡はどのようにしているのか？－Teamsで行うことが多い。
- ・新しいシステムを使うことに抵抗がある教員もいる。
- ・費用は今後どうしていくのか？－今後検討していく必要がある。

● 令和6年度の検討会議における学識経験者の推薦について

【事務局からの説明】（資料6）「青木 和浩教授について」の説明

- ・令和6年度より学識経験者の方を交えた会議体に移行する。
- ・本区とゆかりがある、順天堂大学の青木 和浩 教授からご参加の内諾をいただいている。
- ・青木教授は、スポーツ推進審議会の議長や部活動地域指導事業検討会の委員を務めるなどの経歴をお持ちである。

【主な意見等】

- ・なし

● 文京区立中学校部活動地域連携・地域移行に係る検討会議設置要項(案)及び令和6年度の予定について

【事務局からの説明】

（資料7）「文京区立中学校部活動地域連携・地域移行に係る検討会議設置要綱」

（資料8）「令和6年度検討会議の日程」の説明

- ・要綱は令和6年3月7日に決定した。
- ・4月以降の検討会議については、この要綱に基づき実施する。

- ・委員になる皆様においては、2年間の任期を定めご参加いただく形になる。
- ・会場は教育委員会室を予定している。
- ・青木教授やPTAの代表の方にも参加していただく関係で、開催時刻が遅くなっている。

【主な意見等】

- ・なし

● 部活動指導員の募集について

【事務局からの説明】（資料9）「部活動指導員募集チラシ」の説明

- ・教育指導課事務担当が作成したチラシである。ホームページへの掲載やバスの中の広告などで募集をして人材確保に努めている。
- ・アカデミー推進課やスポーツ振興課でも本チラシを活用して広報にご協力いただきたい。

【主な意見等】

- ・どれくらいの数の採用を見込んでいるのか？—令和6年度の予算は拡充している。
- ・指導員になる要件が高いとやってももらえない可能性もある。要件を緩和する措置をとってもらえれば、やってくれる人も多く出てくるのでは。

● その他

【主な意見等】

- ・部活動指導をやりたい教員がどのようにかかわれるか検討していく必要がある。教員の兼業は時間の制限があるため難しい。やりたいと考えている教員が、「教員」ではなく「指導員」としてやれる体制があるとよい。
- ・「教員の兼職問題」はかなり大きい課題で、文京区だけで対処できるものではない。これは国や都に主導してもらわないといけない。
- ・区としてやれる範囲で考えると、時差勤務で遅く出勤をして、放課後の部活動指導をしてから帰る仕組みなどが考えられる。